

35 食品産業の省力化投資促進事業

令和 8 年度予算概算要求額 190百万円（前年度 38百万円）

<対策のポイント>
食品産業の省力化投資を促進するため、新たな技術の開発に向けて、食品企業、機械メーカー、スタートアップ等が連携して行う業種横断的プロジェクトを支援するとともに、食品企業における生産技術人材の育成システムを構築します。また、中小事業者が多い飲食業において、専門家派遣による伴走支援を行うとともに優良事例の横展開や飲食事業者間での協調した取組を進めるための情報交換会の開催を支援します。

- <事業目標>**
- 食品製造業の労働生産性向上（24%〔令和11年度まで〕）
 - 飲食業の労働生産性向上（35%〔令和11年度まで〕）

＜事業の内容＞

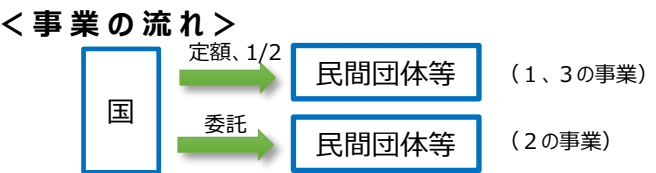
＜事業イメージ＞

1. 業種横断型技術開発実証事業 72百万円（前年度 23百万円）
省力化等生産性向上に資する新たな技術の開発に向けて、食品企業や機械メーカー、試験研究機関、スタートアップ等の関係者が連携して行う業種横断的プロジェクト（データフォーマットの標準化等）について、事業の着手に向けた体制作りから技術開発までをプロジェクトの進展段階に応じて総合的に支援します。

2. 生産技術人材育成推進事業 30百万円（前年度 15百万円）
食品企業生産性向上フォーラムの下、人材カリキュラムの充実、既存の人材育成拠点と連携した研修の場（機会）の整備・全国展開、研修講師の育成等を通じた、省力化技術の導入適否を主体的に判断できる生産技術人材の育成システムを構築します。

3. 飲食業労働生産性向上推進事業 88百万円（前年度 - ）

- ① 食品企業の中でも特に低い飲食業の労働生産性を向上させるため、飲食事業者に対する専門家派遣による伴走支援を実施します。
- ② 優良事例の横展開や飲食事業者間での協調した取組を進めるための情報交換会の開催を支援します。



1. 業種横断型技術開発実証事業

準備フェーズ

- 協調領域の選定
- 目標設定
- 検討項目設定

実証フェーズ

- 実証実験の検討
- 実証実験の実施
- 結果の検証

食品業界全体へ新技術を横展開

2. 生産技術人材育成推進事業

既存の専門人材を活用した指導

既存の拠点と連携した機会の創出

3. 飲食業労働生産性向上推進事業

- ・ 専門家による生産性向上の伴走支援
 - － 現状の課題分析
 - － 省力化や労働生産性が向上する導入機器の選定
 - － 機器導入後の活用法の提案

調理ロボット モバイルオーダー・セルフレジ 在庫管理・販売管理システム

【お問い合わせ先】（1、2の事業）大臣官房新事業・食品産業部 食品製造課（03-6744-2089）
（3の事業） 外食・食文化課（03-6744-2053）